

火守ボランティア 申込用紙

FAX 送信先 075-746-3366

氏名（ふりがな）	年齢	男・女・回答しない
郵便番号 〒 住所	所属（あれば）	
電話番号	FAX	
メールアドレス		
参加可能な日程 ※2つ以上お選びください <input type="checkbox"/> 10月15日（日） <input type="checkbox"/> 10月21日（土） <input type="checkbox"/> 10月22日（日） <input type="checkbox"/> 10月28日（土） <input type="checkbox"/> 10月29日（日） 予備日		
応募動機：120字程度でご記入ください。そのほか、特技や資格などがあればお書きください。		

<応募条件>

- ・18歳以上（高校生の場合は保護者の同意書が必要）
- ・「ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語らう会」に、2回以上参加できる方
- ・10月8日（日）および10月9日（月・祝）に開催の事前ワークショップに両日とも参加できる方

<待遇> 報酬・交通費の支給はありません。

<保険> 主催者負担により、ボランティア保険に加入する予定です。

<募集期間> 2023年8月21日（月）～9月10日（日）23:59

<募集人数> 30名程度 ※申込者多数の場合は抽選を行います

<応募方法> WEBフォームもしくはFAX、郵送にてお申込ください

・WEBフォーム <https://pro.form-mailer.jp/fms/7527d88c258838>

・FAX / 郵送 裏面の申込用紙をご利用ください



WEBフォームはコチラ

<応募から参加までの流れ>

- 9月10日（日）：応募締切
- 9月19日（火）：メールにて抽選結果通知
- 10月8日（日）：「脱炭素ライフスタイルについて考える作戦会議」参加
- 10月9日（月・祝）：「火守ボランティアスタッフに向けたワークショップ（火の扱い等の事前講習）」参加
- 10月15日（日）、10月21日（土）、10月22日（日）、10月28日（土）：焚き火イベント実施

【WEB】23:59まで

応募締切

9月10日（日）

【郵送】消印有効

〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
ロームシアター京都 事業課 火守ボランティア募集係 宛

【FAX】必着

ロームシアター京都 075-746-3366

プロフィール



こやまだ とおる
小山田 徹

アーティスト。京都市立芸術大学美術科（彫刻専攻）教授。1961年鹿児島に生まれる。京都市立芸術大学日本画科卒業。

84年、大学在学中に友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成。ダムタイプの活動と平行して90年から、さまざまな共有空間の開発を始め、コミュニティセンター「アートスケープ」「ウィークエンドカフェ」などの企画をおこなうほか、コミュニティカフェである「Bazaar Cafe」の立ち上げに参加。日本洞窟学会会員。

🔥 小山田さんからのメッセージ

焚き火という営みは、世界最小で最古の共有空間です。

人間には、遺伝子レベルで火の前でのふるまいが組み込まれているのではないのでしょうか。

コミュニティでの縁が切れてしまいつつある現代、焚き火を通じて、いま一度それを獲得する時間が必要だと思っています。

🔥 本企画実施のきっかけとなった、小山田徹氏 × 藤原辰史氏のトークイベントレポート記事です。

ご応募の前にご一読ください。

「いま」を考えるトークシリーズ Vol.17「縁食」のススメ - ゆるやかに集うコミュニティの可能性

https://rohmtheatrekkyoto.jp/archives/report_imatalk17/



レポートはコチラ

🔥 こちらの書籍もオススメ!



藤原辰史（著）

『縁食論 - 孤食と共食のあいだ』（ミシマ社、2020年）

“縁食（えんしょく）”とは、食を通じた人と人との結びつきや場の新たなあり方とその可能性を考えるための手がかりになるキーワードです。本書において著者の藤原氏は、家族のみならず多様な他者と三々五々に集い、会話し、知や教養を培うことを可能にする“食”をとりまくゆるやかな集い—子ども食堂や公衆食堂、そして縁側のような一食と場のあり方を“縁食”と名付けています。

【お問合せ】

ロームシアター京都 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13

電話：075-771-6051（代表、10:00-17:00）メール：oubo@rohmtheatrekkyoto.jp

担当：事業課 山形、成瀬、松本

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

協力：岡崎自治連合会、藤原辰史（京都大学人文科学研究所）、南寛、みんなのミシマガジン編集部（株式会社ミシマ社）

ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

